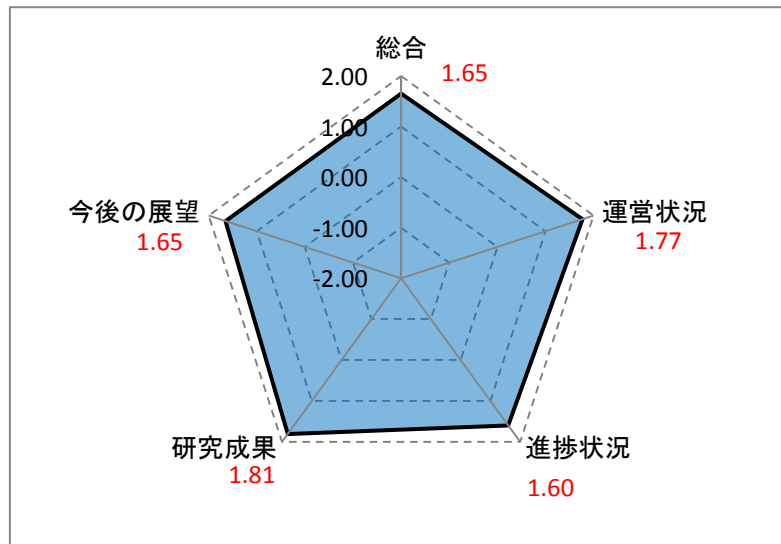


戦略的研究推進センター平成24年度研究プロジェクト評価

研究プロジェクト：重点研究部門 S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
得点	1.65	1.77	1.60	1.81	1.65	1.70
評価	A	A	A	A	A	A



(評価コメント)

昨年度と同様に順調に成果をあげている。論文数は昨年度の56編を上回る62編であり、外部資金獲得総額約1億5千万円は期待以上の成果である。酸化亜鉛に関する特許は日本の大学でNo.1であり、民間大手メーカーなどからも注目されている。大型単結晶を用いずに塗布型としたことが独創的であり、安価で簡単に作成できるため、製品化すれば普及する見込みが高い。島根大学独自の着眼・プロセスはプロジェクト研究の島根大学代表となりつつある。若手研究者の育成や海外研究員交流も充実し、ナノテクプロジェクトセンターの設立にも繋げており、重点プロジェクト後の進展も期待できる。評価点で見れば全般に昨年度と同程度かやや高いが、総合評価点はやや下がっている。その理由には次のような指摘が関係していると推察されるので、留意してH25年度に取り組んでいただきたい。

- ・内容が総花的であり、グループ間の連携が見えにくい。
- ・各テーマ毎の人材育成体制が整えられるとさらによい。
- ・目標の何%程度が達成されたのか、わかりにくい。
- ・技術と産業構造が変化しつつある太陽電池に関しては進展したとは判断しがたい。
- ・グループ間の連携効果を高めてほしい（例えば、Cグループで開発した観察技術をA,Bグループの研究開発に役立てるなど）。
- ・ナノ粒子の医療応用に関しては、臨床応用での安全評価を目指してもらいたい。
- ・ライフイノベーションや基盤技術の進展が十分ではない。
- ・プロジェクト全体の目標について明確にする必要がある。

H23～24年度 重点研究部門の評価得点の比較

S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
H23得点	1.85	1.73	1.55	1.79	1.63	1.71
H24得点	1.65	1.77	1.60	1.81	1.65	1.70

